

- 1 ひろきさんとなつみさんの会話文を読み、次の1～8の問いに答えよ。

会話文

ひろき：明日2月3日はA節分だね。
なつみ：節分は季節の分かれ目の意味だから年に4回あるんだよ。明日からは暦の上での春の始まりだね。
ひろき：春かあ。まだまだ寒い日が続くけどね。ところで、節分の「豆まき」のB大豆は準備したの？
なつみ：私の家では「豆まき」ではなく、関西地方の風習である「恵方巻」を食べるんだ。今年の恵方の方角のC東北東に向かって、無言で太巻き寿司を食べると願いが叶うんだって。
ひろき：あれ？なつみさんのご家族は関西の出身だったっけ？
なつみ：埼玉出身だけど、私の家では数年前から「恵方巻」を食べることに変わったの。「恵方巻」はもともと江戸時代に商人たちが商売繁盛を願って始めた行事だったのが、D1970年代に大阪の水産業者たちがE海苔を普及させるために節分に太巻き寿司の丸かぶりを流行させたものなんだって。
ひろき：へえ。そうなんだ。古くから伝わるF宗教行事というわけではなかったんだね。
なつみ：そうみたいね。もともと関西地域でのローカルイベントだった太巻き寿司をGコンビニエンスストアが全国販売したことをきっかけに全国に普及していったみたい。それで埼玉の私の家でも…。
ひろき：恵方巻のH売れ残りが問題になっているとニュースで見たことがあるよ。食べ残さないようにね！

1. 下線Aについて、暦の上で1年を4つの季節に分けて、それぞれの季節の始まりを立春、立夏、立秋、立冬と表している。2月3日の節分は、立春の前の日で、暦の上での冬の終わりを表している。暦の上での春は2月4日から何日までといえるか。次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。
ア. 3月19日 イ. 5月4日 ウ. 6月20日 エ. 7月18日
2. 下線Bについて、近年、大豆やサトウキビなど、主食ではない作物の生産量を急増させているブラジルでは、**図1**に示すような土地の変化が生じている。これに関して、次の(1)(2)の問いに答えよ。
(1) ブラジルで大豆の生産が増加したのは、おもに中国で食用以外の用途での大豆需要が急増したことに起因する。その要因として最も関連が強いものを次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。
ア. 大気汚染の増加 イ. 一人っ子の増加 ウ. 肉食需要の増加 エ. 農村からの出稼ぎ労働者の増加
(2) **図1**に示すような土地の変化は、「X環境問題の解決のためのバイオエタノール推進政策が、Y新たな環境問題を生じさせている」状況である。XとYにあてはまる環境問題の具体例をそれぞれ簡潔に説明せよ。



1984年



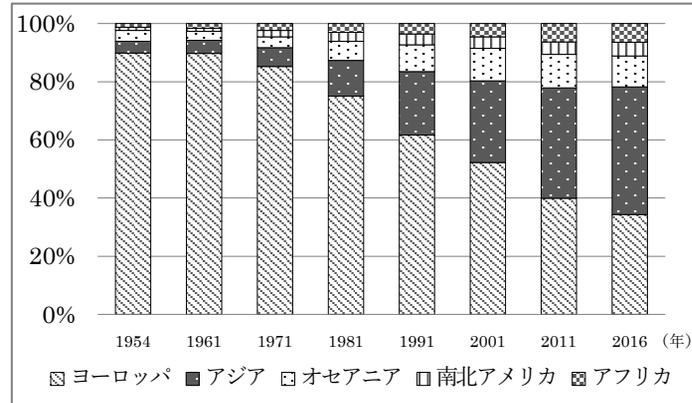
2020年

(Google Earth タイムラプスより作成)

図1 ブラジルのアマゾン川流域で見られる土地の変化 (1984年→2020年)

3. 下線Cについて、東北東の方角を解答欄に図で表せ。ただし、明確に東や北東との違いがわかるようにすること。

4. 下線Dについて、ある国では1970年代に移民政策を大きく変更した結果、図2に示すような変化が起こった。この国にあてはまるものとして適当なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。



(ABS website より作成)

図2 ある国の移民の出身地域別割合

- ア. アメリカ合衆国 イ. 中国 ウ. イギリス エ. オーストラリア

5. 下線Eについて、海苔の生産量が全国1位の佐賀県の有明海(図3)には、秋以降になると海苔の養殖用の網が一面に張り巡らされる。時折、海苔の色落ちや不作が問題となり、商品として出荷できる量が激減する事態をニュースで見聞きすることがある。図4は有明海における海苔の不作をめぐる問題構造を表している。下のア～クのうち、図4のA～Dにあてはまるものを1つずつ選び、記号で答えよ。



図3 有明海の位置

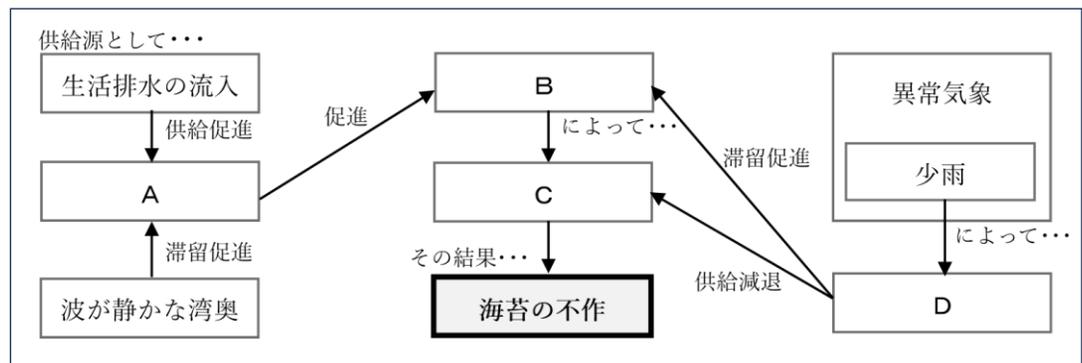


図4 海苔の不作をめぐる問題構造

- ア. 水産業者の高齢化 イ. 地方の過疎化 ウ. 黒潮の蛇行 エ. 赤潮の発生
 オ. 河川流量の低下 カ. 汚染物質の浄化 キ. 栄養不足 ク. 富栄養化

6. 下線Fについて、日本の町中でも「HALAL」というマークのついた食品が見られるようになった。この「HALAL」の持つ意味の説明として正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

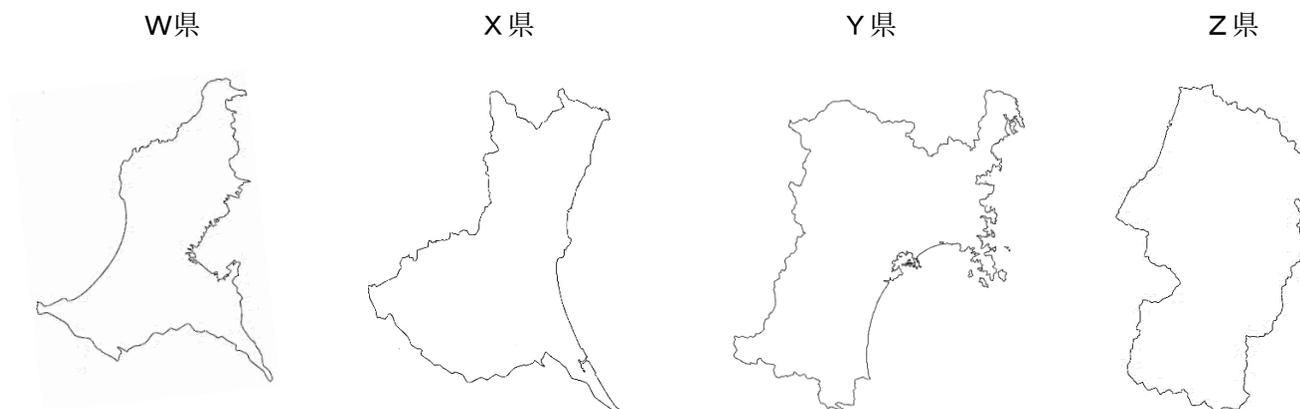
- ア. イスラムの教えに従って1年のなかでの断食の時期が表示されている。
 イ. イスラムの教えに従って1日のなかでの礼拝の時間が表示されている。
 ウ. イスラムの教えによって食べることを禁止されているものに表示されている。
 エ. イスラムの教えによって定められた調理法でつくられたものに表示されている。

7. 下線Gについて、全国どこの店舗でも同じ商品が欠かすことなく店頭に並べられているのは、物流・運送業界の貢献が大きい。ところが、物流・運送業界の「2024年問題」が問題視されている。これは、常態化したドライバーの長時間労働を是正するために、労働時間に上限が設定されることによって生じる問題のことをさす。これによって生じる問題の説明として誤りを含むものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. ドライバーの1日当たりの走行距離が短くなるため、長距離輸送が難しくなる恐れがある。
 イ. ドライバーの高齢化が進み、若手ドライバーが減少してしまう恐れがある。
 ウ. ドライバー不足により運搬量が減少するため、物流・運送業界の売上が減少してしまう恐れがある。
 エ. 時間外手当(残業分の給料)が減少するので、ドライバーの収入が減少してしまう恐れがある。

8. 下線Hについて、食品の売れ残りや食べ残しなどによって、無駄になってしまう食料品の多さが問題視されている。この問題のことをカタカナで何というか、答えよ。

2 ちかこさんは、形が似ている県があることに興味を持ち、レポートにまとめた。次の1～5の問いに答えよ。



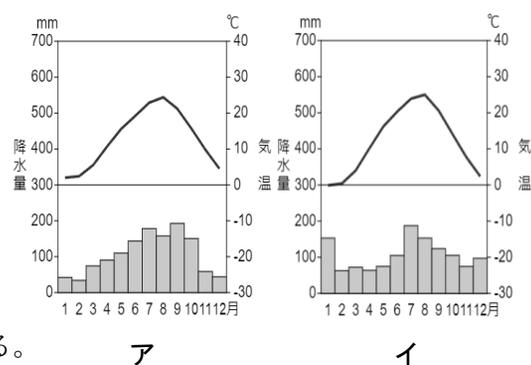
注) 縮尺、方位等は地図により異なって表示している。また、島しょ部は一部省略して表示している。

レポート

関東地方に位置するW県とX県は隣接しており、南北を反転させると県の形が似ている。世界一人口が多い東京大都市圏の一部を形成しているが、農業産出額が全国3位・4位である農業県でもある。東京などの大都市への出荷を目的としたA近郊農業が盛んである。一方で、工業についても全国有数の地域であり、W県は輸入原料を用いた化学工業、石油製品・石炭製品などの部門で全国1位の出荷額である。X県は機械や金属などを製造する重工業が盛んであり、B市の名前を冠した大手企業が立地する。

東北地方に位置するY県とZ県は隣接しており、東西方向に反転させると県の形が似ている。Y県とZ県の県庁所在地はほぼ同緯度であるが、C気候の様子は異なっている。Y県は東北地方における中核の機能を有しており、隣接するZ県とはD人口の様子が大きく異なっている。

- W、X、Y、Zの各県のうち、県名と県庁所在地の都市名が異なるものをすべて選び、記号で答えよ。
- 下線Aについて、近郊農業について述べた文として誤りを含むものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。
 - ア. 人口の大部分が第1次産業に従事しており、県の産業の出荷額の大部分を占めている。
 - イ. 大消費地に近い立地を生かして、新鮮さが求められる野菜や鶏卵などを出荷する。
 - ウ. 高速道路の整備や冷蔵機能を備えたトラックの普及などによって農業地域が郊外に拡大した。
 - エ. 冷涼な気候を生かして生産した高原野菜や、温暖な気候を生かして生産した野菜や生花を通年で出荷する。
- 下線Bについて、X県が創業の地で、市の名前を冠した大手企業が関連企業とともに企業城下町を形成している。この企業が社名に用いた市にあてはまるものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。
 - ア. 日立市 イ. 横浜市 ウ. 豊田市 エ. 神戸市
- 下線Cについて、図1はY県とZ県の県庁所在地の都市の雨温図を示している。このうち、Y県の雨温図にあてはまるものを図1のア・イから1つ選び、記号で答えよ。
- 下線Dについて、表1はY県とZ県の人口に関するデータを示している。このうちY県にあてはまるものを表1のア・イから1つ選び、記号で答えよ。



(<https://ktgis.net/service/uonzu/>より作成)

図1

表1

(2020年)

	出生率 (‰)	死亡率 (‰)	65歳以上 人口割合 (%)	第1次 産業 (%)	第2次 産業 (%)	第3次 産業 (%)
ア	5.6	15.0	34.3	8.4	28.5	63.1
イ	6.1	11.5	28.9	3.9	23.6	72.5

- 3 台湾からの留学生のユイさんが、人類の歴史の中で大きな影響を与えたことについて発表するために作成した発表原稿の一部を読み、次の1～7の問いに答えよ。

発表原稿

私が考える「人類の歴史の中で大きな影響を与えたこと」は、大きく3つあります。

1つ目は文字を発明したことです。文字は人類が情報を伝える手段の1つとして発展してきました。最初は身振りや音声で情報を伝えていましたが、伝えたいことを複数の絵に音を当てはめて伝えるようになったことで、現在の文字の原型が生まれたそうです。古くからある文字の原型の1つに、Aメソポタミアで出土した粘土板があります。B古代の中国では、木や竹の板に、漆や墨で文字を書きつけることが一般的でした。中国で生まれた印刷術は、12世紀ごろCヨーロッパに伝わり、活版印刷術として発展しました。この印刷術は、D宗教改革の思想をヨーロッパに広げる上で大きな役割を果たしました。現在、文字は人々の間で情報を記録し、伝達する重要な手段です。

2つ目は、民主主義という考え方が生まれたことです。民主主義は、人々に人間らしく生きる権利、政治に参加する権利を保障する根幹をなす考え方です。民主主義の起源として、E古代ギリシャの政治があげられます。古代ギリシャでは、農業を営み、奴隷を所有し、戦争時は兵士として闘う男性が「市民」として政治に参加していました。彼らは、民会と呼ばれる屋外の集会で政治の最終判断を下す役割を担ったそうです。しかし、西ローマ帝国が滅びると、ヨーロッパでは国王を頂点とする身分階層が築かれたことで、下層階級の人々は政治に参加することができなくなります。民主主義は決して当たり前の考え方ではなかったのです。現在の民主主義は、Fイギリス、アメリカ、フランスでの革命をきっかけに広まっていき、今も試行錯誤を繰り返しながら維持されています。

3つ目は、G宗教が誕生したことです。宗教は、私たちの生活様式や行動にも影響を与えています。

1. 下線Aについて、メソポタミアで使われた文字の名称として正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. 象形文字 イ. 甲骨文字 ウ. 神聖文字 エ. 楔形文字

2. 下線Bについて、古代の中国の説明として正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. 周は殷によって滅ぼされた。 イ. 漢は紀元前2世紀の武帝の時代になると衰退していった。
ウ. 秦は王が初めて「皇帝」を名乗った王朝である。 エ. 孔子が説く仏教の教えは古代の日本にも伝わった。

3. 下線Cについて、11世紀末に西ヨーロッパのカトリック教会の頂点に立つローマ教皇が、キリスト教の聖地でもあるエルサレムをイスラム教の国から奪回するために派遣した軍の名称を漢字で答えよ。

4. 下線Dについて、宗教改革を始めた人々は、カトリック教会に抵抗するという意味で何と呼ばれたか。カタカナで答えよ。

5. 下線Eについて、古代ギリシャの政治と現在の日本の民主主義の類似点や相違点を考察した下の文章X・Yの正誤の組み合わせとして正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

X 「市民」は民会に参加して政治の最終判断を下しており、国民を代表する議員が議会で政策を決定する現在の日本の民主主義とは異なる。

Y 古代ギリシャの「市民」としての資格は性別に関係なく与えられており、すべての国民に政治に参加する権利を保障する現在の日本の民主主義と類似している。

ア. X：正 Y：正 イ. X：正 Y：誤 ウ. X：誤 Y：正 エ. X：誤 Y：誤

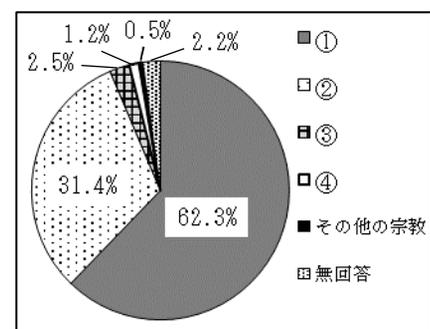
6. 下線Fについて、欧米で革命が起きた当時の状況の説明として誤りを含むものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. 植民地を統治する国が課税を強化したことで、植民地側が反発していた。
イ. 国王による専制政治が行われており、議会側がこれに反発していた。
ウ. 国外に金が大量に流失したことで、貿易を一部の国に制限していた。
エ. 身分による貧富の差が大きく、一部の身分の人々が税を負担していた。

7. 下線Gについて、図1は日本人が「ふだん信仰している」と答えた宗教の割合(2018年)であり、①～④の項目には次のア～エのいずれかが当てはまる。

①の項目に当てはまるものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. 仏教 イ. 神道 ウ. キリスト教 エ. 信仰している宗教はない



(「宗教に関する意識調査」より作成)

図1 日本人が「ふだん信仰している」と答えた宗教の割合(2018年)

- 4 アリスさん、アカネさん、ナオトさん、タクミさんの4人が歴史的分野のまとめとして作成した農業の歴史についてのポスターを読み、次の1～8の問いに答えよ。

ポスター

時代の変化に応じて農業はどのように変化してきたのか？

3年B組 アリス、アカネ、ナオト、タクミ

● 調査の背景

私たちのグループでは、時代によって大きな変化があったにも関わらず古くから日本で農業が行われてきたことに注目して、当時の社会と農業の関係について調べました。

● 研究の方法

教科書や文献、インターネットから情報を収集しました。また、学校の近くの博物館へ行き、実際に学芸員の方に話を伺いました。

● 調査の結果

原始・古代

→

中世

植物の栽培から稲作へ

縄文時代には植物の栽培が行われていました。大陸から稲作が伝わると、人々の主食として米が普及しました。A農具を使い集団で農業が行われたことで、小さな国がいくつも現れました。それらを束ねる政権が出現すると、B米は人々が負担する税の一つとして位置づけられました。

地域社会での結束と農業

Cこの時期になると、農作物の収穫量は増えていきました。農作業を行う土地は領主や大名に支配され、農民は年貢を納めました。一方で、地域社会ではD有力な農民を中心とした自治も展開され、年貢の減免などを求めて農民が領主や大名に抵抗することもありました。

近世

→

近代・現代

農業の進歩と農民の統制

幕府は安定して年貢を徴収するために、E新田を開墾して米の生産量を増やしました。また、土地の売買を禁止し、米以外の作物の生産を制限しました。これは、F豊臣秀吉の政策により定まった身分をより強化しました。また、専門書が全国的に普及し、農具の改良や生産方法の効率化が全国的に進みました。

地主の出現と解体

明治政府は、国家の財政を安定させるために、G地租改正を実施しました。その結果、農地が地域の有力者に集まり、彼らは地主として力を持ちました。一方で、産業革命や戦争を経て日本の主要な産業は工業へと移りました。戦後のGHQの方針によりH農地改革が進められました。

● まとめ

農業は、大陸から伝わった技術を時代とともに変化させながら収穫量を増やしていきました。米が日本に住む人々の主食として定着していると思うと、農業は、日本に住む人々の暮らしを支える重要な産業であるはずですが、現在は農業従事者の減少など、課題も多いのが現状です。人工知能（AI）が様々な産業で活用されるようになってきたので、農業でもAIの積極的な活用を期待したいです。

1. 下線Aの時期に使われていた農具として適当なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア

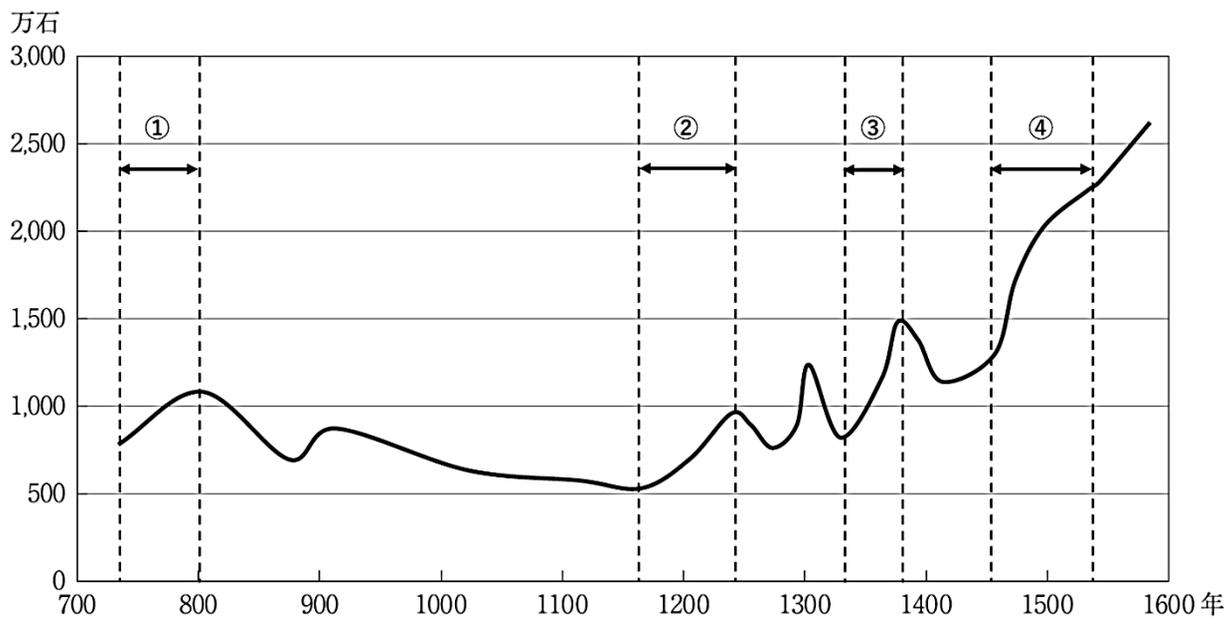
イ

ウ

エ

- 4 -

2. 下線Bについて、大宝律令ではこの税のことを何というか。漢字1字で答えよ。
3. 下線Cについて、図1は古代から中世にかけての米の生産量の推計である。4人は図1を見てそれぞれ仮説を立てた。4人の立てた仮説のうち最も適切なものを次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。



(水鳥川和夫「古代・中世の水田生産力」より)

図1

ア

【アリスさんの仮説】

①の時期に米の生産量が増加しているのは、墾田永年私財法によって、新たに開墾した土地を当時の政権が直接支配したからではないか。

イ

【アカネさんの仮説】

②の時期に米の生産量が増加しているのは、鎌倉幕府が国ごとに設置した守護が荘園や公領の土地と農民を直接支配したことの影響ではないか。

ウ

【ナオトさんの仮説】

③の時期に米の生産量が増加しているのは、農民たちの間で牛馬のふんや堆肥の利用がより広がったことの影響ではないか。

エ

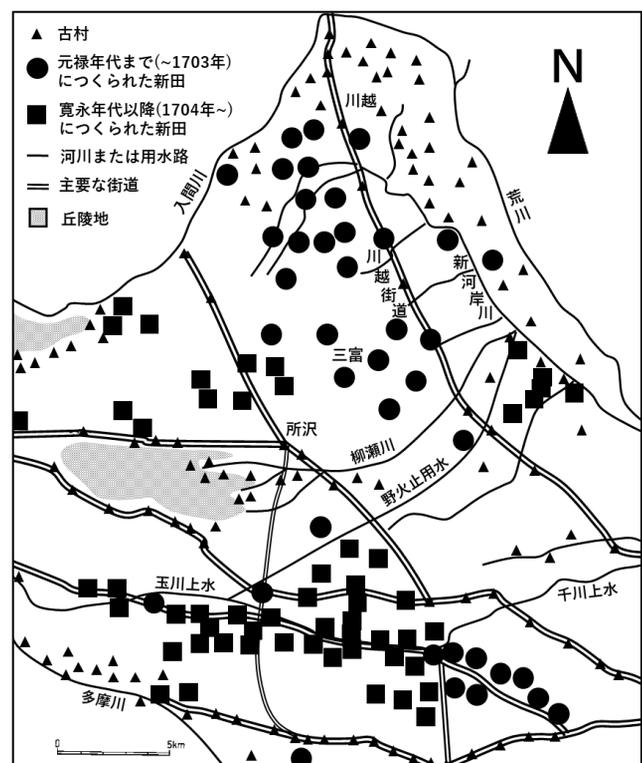
【タクミさんの仮説】

④の時期に米の生産量が増加しているのは、当時の政権が、安定して年貢を徴収するために、五人組の制度を作ったからではないか。

4. 下線Dについて、有力な農民を中心に村ごとにまとまってつくられた中世の自治組織を何というか。漢字1字で答えよ。

5. 下線Eについて、アカネさんは江戸時代の武蔵野における新田開発の様子が見える図2を発見した。図2から読み取れることとして適切なものを次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 地図によると、新田の開発は、荒川と新河岸川に挟まれた地域でさかんに行われていたことがわかる。
- イ. 地図によると、新田の開発は、河川の周辺のみで行われていたことがわかる。
- ウ. 地図によると、川越街道や新河岸川周辺は、寛永年代以降さかんに新田が開発されたことがわかる。
- エ. 地図によると、玉川上水周辺の新田の多くは、所沢より北部の新田よりも新しいことがわかる。



(農業土木歴史研究会『大地への刻印：この島国は如何にして我々の生存基盤となったのか』を一部改変)

図2

6. 下線Fについて、史料は、豊臣秀吉による政策に関連するものである。史料から読み取れることを説明した文章a～dの組み合わせとして正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

史料

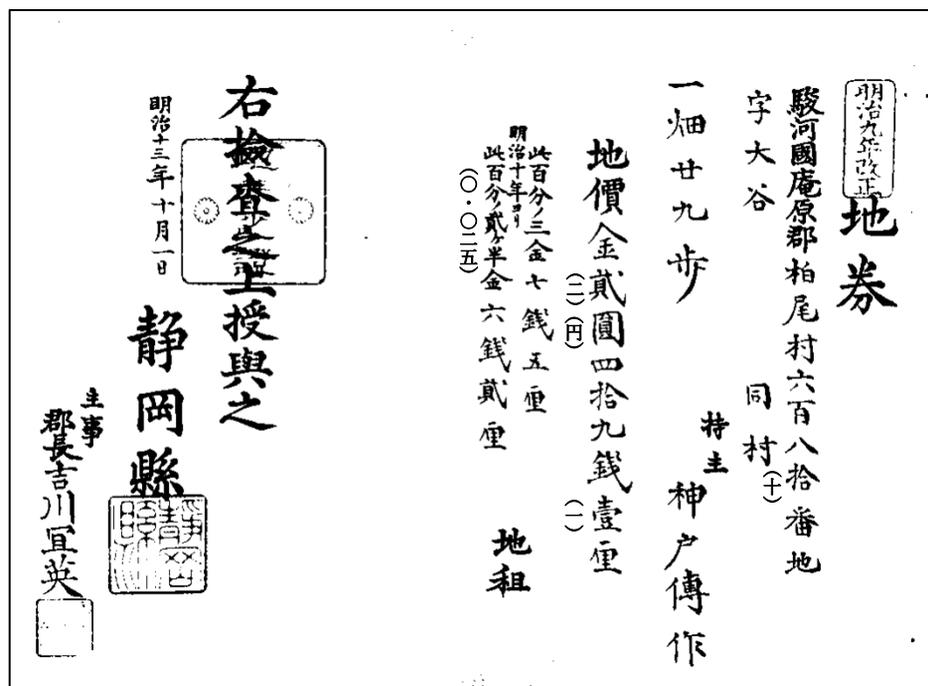
諸国の百姓たちが、刀・脇指・弓・槍・鉄砲などの武器類を持つことを固く禁止する。…百姓たちが必要のない武器をもち、年貢納入を滞らせ、万一、一揆を計画して、領主に反抗するような行動に出る者は、もちろん厳重に処罰をしなければならない。そんなことになれば、田畑を耕す者がいなくなってしまう。だから、大名・給人・代官は、百姓のもっている武器をすべて没収して、差し出すこと。

〔『小早川家文書』より〕

- a. 史料によると、百姓が武器類をもつことを禁止している。
 b. 史料によると、百姓が農具を武器として使用することを禁止している。
 c. 史料によると、この政策は、百姓が土地を放棄することを防ぐためのものである。
 d. 史料によると、この政策は、百姓が武器を使って領主に反抗することを防ぐためのものである。

ア. a・c イ. a・d ウ. b・c エ. b・d

7. 下線Gについて、図3は駿河国で発行された地券である。図3からわかることを正しく述べたものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

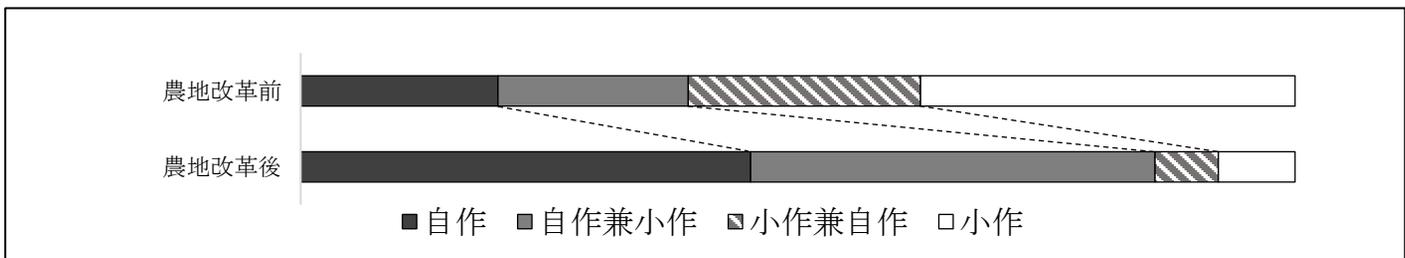


(個人所有。一部の漢数字にはルビを振っている。)

図3

- ア. この地券の持主は、駿河国全域の土地の所有権を認めている。
 イ. 政府は当初、この地券の持主に地価の3%を現金で納めさせたが、明治10年から2.5%分追加した。
 ウ. この地券の持主は、二円四十九錢一厘を現金で納めた。
 エ. この地券の持主は、六錢二厘を現金で納めた。

8. 下線Hについて、図4は、埼玉県における、自小作別農家戸数の割合を農地改革の前後で比較したものである。農地改革の目的について、グラフをもとに簡潔に説明せよ。なお、「自作兼小作の農家」とは、自らが所有する土地が5割以上9割未満の農家、「小作兼自作の農家」は、借りた土地が5割以上9割未満の農家のことをいう。



〔『新編 埼玉県史 資料編22』より作成〕

図4

5 以下の校外学習のしおりを読み、次の1～8の問いに答えよ。

【校外学習のしおり】

○学校長あいさつ

本校の校外学習はとても特徴的です。学びを深めるために、4方面から1つを選択して参加してもらいます。4つの行き先を簡単に紹介しましょう。

1つ目は、長崎県西海市です。A長崎県は沿岸を暖流が流れる地域であり、比較的温暖な気候です。離島が多いことも特徴です。校外学習では、西海市を訪問し、民泊を体験してもらいます。人口減少に苦しむ地域ではありますが、地域の問題を解決するためにアクションしている人たちがたくさんいます。民泊を通じて、地域の人たちの熱意をぜひ取材してみましょう。

2つ目は、静岡県掛川市です。静岡県は世界文化遺産である富士山のひざ元に位置します。そして、お茶の生産量が多いことも特徴です。しかしながら、人口減少と後継者不足が相まって、美しいお茶畑を維持していくことが困難となっています。校外学習では、お茶を用いた新しいビジネスを立ち上げているお茶農家を訪問し、お茶の新たな可能性について探究していきます。

3つ目は、新潟県阿賀町です。阿賀町は高度経済成長期に公害が発生し、深刻な被害が出た地域です。現在では、問題を起こした企業と住民が対話を重ね、持続可能な地域を創るために行動しています。生徒の皆さんは、企業訪問と民泊を通じて、公害と向き合う地域の今を探究していきます。

4つ目は、山梨県笛吹市です。B笛吹市は甲府盆地に位置しており、とても特徴的な地形を有しています。中心地には石和温泉が立地しており、観光地としても有名です。実は、笛吹市には海外進出を目指す企業やブドウを用いた新しい商品を開発している企業が立地しています。石和温泉に宿泊しながら、笛吹市の魅力について探究しましょう。

○山梨県笛吹市の旅程

1日目 7月11日(火)	7:30: 学校集合 8:00: 出発 10:30~12:00: 笛吹市役所の職員によるレクチャー。 (1) 移住・定住について (2) 子育て支援について (3) 観光について 12:00~13:30: シャトレーゼホテルにて「C地産地消オリジナル弁当」をいただきます。 13:30~15:00: 一ノ瀬瓦工業訪問 ★訪問のねらい:「瓦を通じて、日本の伝統文化を海外に広めたい」という熱い思いをもつ企業です。屋根瓦だけではなく、瓦を用いた食器も販売しています。Dニューヨークにも出店し、瓦の海外輸出も視野に入れているそうです。今回の訪問を通じて、生徒の皆さんにも自分の「軸」を見つけてもらいたいと思います。
2日目 7月12日(水)	9:00~11:30: FUJIYAMA ツインテラス訪問 ★訪問のねらい: FUJIYAMA ツインテラスは、E河口湖や山中湖、富士山が一望できる眺望スポットです。笛吹市が新たな観光地として整備しました。高校生の視点から、この新しい観光地を盛り上げるための方法について探究します。 12:00~13:00: 吾妻亭にて地元産のお蕎麦をいただきます。 14:00~16:00: なでしこ農園訪問 ★訪問のねらい:「見た目が悪いブドウは、売り物にならない。ただ捨てられるだけで、もったいない。」なでしこ農園は、そんなブドウを活用し、バルサミコ酢を製造しています。食品の無駄を削減するための取り組みです。生徒の皆さんには、ビジネスを通じて社会課題を解決するという視点を持ってもらいたいと思います。

<p>3日目 7月13日(木)</p>	<p>9:00~11:30: 芦川町訪問</p> <p>★訪問のねらい: 芦川町は、<u>F人口減少と少子高齢化が進む山間の集落</u>です。しかし、地域住民の皆さんが、農業やキャンプ場の運営を積極的に行い、地域コミュニティを維持しています。地域で活躍する住民の方に聞き取り調査を行い、地域を維持していくための秘訣について探究します。</p> <p>12:00~13:30: 山梨県立笛吹高等学校の皆さんとランチ交流会</p> <p>13:30~17:00: 班別行動</p> <p>★訪問のねらい: 事前に決めたルートに従い、タクシーで移動します。最終日のプレゼンテーションに向けて、笛吹市の観光スポットを訪問し、観光客の方への聞き取り調査を実施しましょう。</p>
<p>4日目 7月14日(金)</p>	<p>10:00~12:00: 成果報告会</p> <p>★活動のねらい: 今回の校外学習で学んだ成果をプレゼンテーションします。笛吹市役所の職員の方や旅行会社の社員さんから指導・講評していただきます。</p> <p>12:30~13:30: 桃狩り、ランチ休憩</p> <p>16:30: 学校到着、解散</p>

1. 下線Aの暖流の名称を、漢字で答えよ。
2. 以下の図1は下線Bの地形を撮影したものである。この地形の名称を、漢字で答えよ。



(Google Earth より)

図1

3. 下線Cの地産地消とは何か、簡潔に説明せよ。
4. 下線Dに関連して、一ノ瀬瓦工業は昨今の為替相場の状況も加味して、ニューヨークへの出店を計画している。一ノ瀬瓦工業が海外進出を計画する経済的背景を、「輸出」、「為替相場」という2つの用語を含めて簡潔に説明せよ。
5. 下線Eの河口湖周辺は、国内外から多くの観光客が訪れ、交通渋滞やごみの問題が発生している。このように、観光客が増加することによって、地元住民の生活や環境が悪化する状況のことを何というか、カタカナで答えよ。

6. 下線Fに関連して、人口減少と少子高齢化に対応するための日本の政策として正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。
- ア. 少子高齢化に対応するため、2000年に介護保険制度が創設された。
 - イ. 人口減少と少子高齢化による社会保障費の増加分を補うため、2019年に消費税率を8%まで引き上げた。
 - ウ. 少子化対策として、現在、全国の公立小学校の給食費は無償となっている。
 - エ. 高齢者が安心して勤務することができるようにするために、2020年に労働関係調整法が制定された。
7. 2日目に訪れる「なでしこ農園」の取り組みは何と呼ばれているか。正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。
- ア. 農業の現代化
 - イ. 農業の六次産業化
 - ウ. フードドライブ活動
 - エ. ゼロ・エミッション活動
8. 訪問先の4つの県について述べた以下の文のうち、正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。
- ア. 4つの県のうち、政令指定都市があるのは、長崎県だけである。
 - イ. 4つの県のうち、世界文化遺産があるのは静岡県だけである。
 - ウ. 4つの県のうち、四大公害事件が発生したのは新潟県と静岡県である。
 - エ. 4つの県のうち、桃の収穫量が最も多いのは山梨県である。

6 以下の文章は、日本のエネルギー政策についてまとめたものである。この文章を読み、次の1～6の問いに答えよ。

1950年代は、**A**が日本のエネルギー供給の約半分を担っていた。その後、海外での油田の発見や社会・経済の変化で石油の需要が急増し、**1960年代**には石油が**A**を上回るようになった。しかし、1973年の石油危機以降、日本は天然ガスと原子力、再生可能エネルギーの導入を進め、中東からの石油輸入への依存度の低減と**エネルギーの多様化**を図ってきた。

原子力については、政府が1974年にいわゆる電源三法を制定し、地方公共団体に補助金を交付する制度を作って、原子力発電所の建設を推進した。この政策によって原子力発電所は急速に拡大し、2010年にはエネルギー供給の約11%まで高まった。

再生可能エネルギーは、政府が1974年に策定したサンシャイン計画に基づいて研究・開発を進めてきた。1997年の**D**の採択によって、温室効果ガスの排出量を1990年比で6%削減する義務を負うと、再生可能エネルギーをさらに後押しする政策を推進している。

一方で、国際社会に目を向けると、温室効果ガスの削減に関して対立が起こっている。特に、先進国と途上国の利害対立は深刻である。そこで、2015年に**E**が採択され、産業革命前からの気温上昇を2度より低く抑えるという目標に向けて、途上国を含む197の国と地域がそれぞれ削減目標を立てて取り組むことになった。ただ、削減目標の達成は義務ではないため、各国が実効性のある対策を講じていくことが重要である。

1. **A**に当てはまる適切な語句を、漢字2字で答えよ。
2. 下線Bの時代の説明として適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。
 - ア. 日本は朝鮮特需の結果、戦後の深刻なインフレーションから抜け出しつつあった。
 - イ. バブル経済が崩壊した結果、日本は不景気に突入した。
 - ウ. 日本円の価値が安すぎたため、アメリカとの間で日米貿易摩擦が発生した。
 - エ. 所得倍増計画や東京オリンピックが開催された結果、平均して約10%の高い経済成長率を記録した。

—次のページへ続く。—

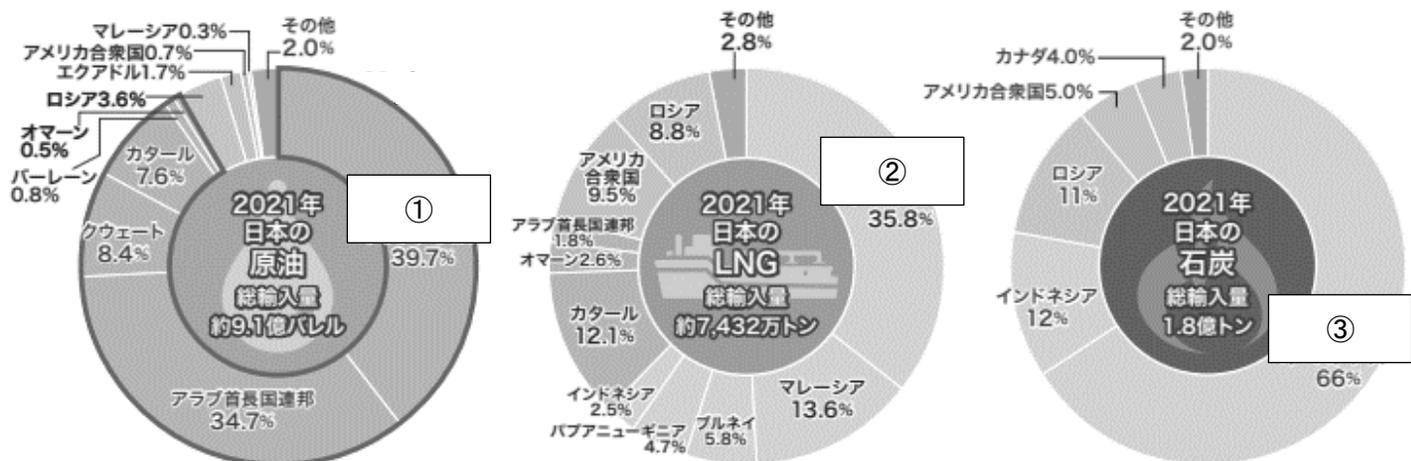
3. 下線Cに関連して、以下の表1は主な発電方法の利点と課題をまとめたものである。表1中の①～④に当てはまる、最も適切な発電方法の組み合わせとして正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

表1 主な発電方法の利点と課題

	①	②	③	④
利点	<ul style="list-style-type: none"> 電力供給が大量で安定している。 需要に合わせて発電量を調節しやすい。 電力消費地の近くに建設しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 電力供給が大量で安定している。 発電時に温室効果ガスを排出しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 電力供給が大量で安定している。 資源が枯渇するおそれなく、国内で確保できる。 発電時に温室効果ガスを排出しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 資源が枯渇するおそれなく、国内で確保できる。 発電時に温室効果ガスを排出しない。 小規模の設置がしやすい。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 発電時に温室効果ガスを排出する。 資源の調達量や費用が海外の情勢によって左右されやすい。 資源が枯渇するおそれがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 事故の際、被害が甚大である。 立地が臨海部及び河川沿いに限定される。 	<ul style="list-style-type: none"> 発電施設の建設が自然環境や生活環境を悪化させるおそれがある。 立地が河川上流に限定される。 	<ul style="list-style-type: none"> 電力供給が、気象条件などによって左右されやすい。 発電費用が高い。 立地が限定される。

- ア. ①火力発電 ②原子力発電 ③太陽光発電 ④水力発電
 イ. ①原子力発電 ②水力発電 ③火力発電 ④太陽光発電
 ウ. ①火力発電 ②原子力発電 ③水力発電 ④太陽光発電
 エ. ①原子力発電 ②火力発電 ③水力発電 ④太陽光発電

4. **D** に当てはまる条約の名称を、漢字で答えよ。
 5. **E** に当てはまる国際的な取り決めの名称を答えよ。
 6. 以下の図1は、日本の化石燃料の輸入先を示している。図1中の、①～③に当てはまる国名の組み合わせとして、適切なものを次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。



(資源・エネルギー庁「日本のエネルギー」2023年2月発行より)

図1 日本の化石燃料の輸入先(2021年)

- ア. ①オーストラリア ②サウジアラビア ③中国
 イ. ①サウジアラビア ②オーストラリア ③オーストラリア
 ウ. ①オーストラリア ②中国 ③サウジアラビア
 エ. ①サウジアラビア ②サウジアラビア ③オーストラリア